

2014/ 6月7日記録	NPO ふくてっく定例会	司会 立溝 会員 場所 市立社会福祉センター
事務局報告		中北 会員
<p>・5/10 運営会議で25年度の振り返りと次年度展望等を協議しました。 6月が会期末となりますが、8月の総会を控えて7月中旬に運営会議、月末に理事会を予定します。</p> <p>・7月の例会は、会場を再度変更。東大阪市若江東の「ばあとなゝ」新事業所で行います。⇒地図等後日メール配信 テーマ：当事者主体の障がい者支援活動／ふくてっくの支援プログラム</p> <p>・20周年イベント企画について・・・6/6 エイジレスセンター柳大路様と打合せ。会場及び展示パネルを確認。清水・曾我部</p> <p>・ふくてっく会報86号発行</p>		
閲覧資料および書籍の紹介		
A 催し・事業企画の案内 特になし		
B 他団体の機関紙等		
B-1 NPOちゅうぶ通信 4月号・5月号	B-2 ゆめごよみ風だより No.65	
B-3 サロンあべの VOL.334、335	B-4 KSKR移動・送迎支援活動ニュース	
B-5 まねき猫通信		
C 情報誌		
C-1 COMVO 5月号		
D その他		
D-1 小規模福祉事業所の実態調査報告 大阪宅老所・グループハウス連絡会		
その他、運営会議議事録、協働取組のあり方についての協議書 等		
学習会		13:50~15:20
「これからの地域支援活動のゆくえ」		
大阪市ボランティア・市民活動センター 副所長 脇坂 博史氏		
<p>・大阪市社協の沿革</p> <p>1951 (S26) 年「社会福祉事業法」公布され、財団法人 大阪市社会福祉協議会 同年5月28日設立許可があり、一年後に社会福祉法人登記完了。1968年から大阪市に地域福祉活動モデル地区・老人福祉モデル地区・不在家庭児福祉モデル地区など計26地区を指定、1970年には「地域福祉活動モデル地区」として一本化、最終300強の小学校下に130地区が指定された。設立許可が下りた1951年から少数精鋭部隊で、わずか1年で行政区地図に①老人、②18歳未満の子を持つ母子家庭、③非行少年・・・等①から④の項目をプロットした「大阪市社会福祉地図」を完成させ、老人は市の南部に多いとか母子世帯は港区最少など概況をまとめている。今から考えると、プライバシーもなにも考えず、すごいことをしたと思う。その地図をもとにモデル地区は制定されている。ボランティア講座や高齢者食事サービス、おもちゃ図書館など地区ごとに必要性の高い支援を実施していた。</p> <p>1990年「老人福祉法等の一部を改正する法律」により、社会福祉事業法が改正され、区社協も法人化へ。</p> <p>1987年に大阪市ボランティアセンターが開設され、11月に完成した市立社会福祉センター会館に入り今日に至る。</p> <p>・ボランティア活動のこれまで</p> <p>1990年 フランソロピー（企業による社会貢献活動の総称）元年 脇坂氏としては、1995年阪神大震災がボランティア元年と言われ、社会的影響も大きかったと言われているが、それよりこちらの方が大きかったのではないかと思うとのこと。1998年に有償ボランティア団体協議会発足。ボランティアで有償という矛盾。原則、ボランティアは無償であるはず。有償であってもボランティアマインドを忘れないようにすれば良いのでは。2003年支援費制度が始まり、障がい者支援がガイドヘルパー等に移行したために、ボランティア活動のニーズが減った。しかし、2012年障がい者総合支援法やこの度改正される介護保険の要支援者を認定者から外すこと等、ますますボランティアの力が必要になるが、一度減ってしまったボランティア活動はすぐにどうにかなるものではないと思うとのこと。</p> <p>・新地域支援事業 これからの地域支援を考えよう</p> <p>これまでのボランティア活動を考えると、岡本先生、竹村さん、宇賀神さん等々、その時その時に強いパワーをもったキーマンの存在があった。人が増えると、良く働く人2割、普通の人6割、ダメな人2割の法則で、質が薄くなるように思う。若い人にボランティアマインドを説いても、安全志向というか・・・。ボランティアの本質を守るためにも、「何故ボランティアをしないの？」と言えるくらいまでに社会意識を持っていかないと。また、災害時帰宅難民が企業からたくさん出ると言われている。その人たちを自宅に帰そうとするのではなく、企業にとどまりそこで支援者側になるような考え方を企業の方には持っていただきたい。</p> <p>自助・共助・公助・近助・・・私の原意は、穀物を囲むこと・・・それを広げることが公の意味である。自助は自らを守ること、それを広げることが公助。ボランティアは特別なものではなく身近で当たり前のことなんですとのこと。</p>		

1. ふくてっくのつどい		小川 会員
<p>・5/31「つどい」集会をしました。⇒①ものづくり：自由木工等、②体験活動：里山や畑等、③ものしり活動：パソコンやからくり等の3本柱を中心に活動を行っていく。</p> <p>・6/14 若しくは15日に、林田さんの畑に玉ねぎ・じゃがいも等の収穫体験に行きます。週明けに集合時間等詳細連絡します。次回「つどい」集会は7月を予定しています。</p>		
2. 東大阪部会		清水 会員
<p>① 5月の東大阪における改造助成・介護住改の検証活動は5日間（5/1.8.15.22.29）延べ10名が活動しました。</p> <p>② 東大阪市改造助成事前相談会2回実施しました。</p> <p>③ 5月17日10:00～12:00 大阪市立社会福祉センター「活動検討会」開催、参加者8名、検証事例等について</p> <p>・東大阪あれこれ「東大阪/帝国シネマについて」川北会員 ⇒ お茶とおいしい御団子付きで、東大阪にあった帝国キネマ撮影所等の話を聞く。</p> <p>*東大阪活動9年目に入りました。自転車を2台新しくします。</p>		
3. こむねっと事業部会		中北 会員
<p>I こむねっと部会活動</p> <p>●福祉サービス第三者評価</p> <p>1. 奈良県手をつなぐ育成会 GHほか第2種社会福祉事業の第三者評価 最終段階へ ⇒6/9の会議延期</p> <p>2. 同朋学園の第三者評価に引き続き、協働取組のあり方について協議 ⇒エイジコンサージパンとの協働は、可能性と課題が見えてきた。報告書にまとめました。6/12今後どうするかの話し合いももちます。</p> <p>●その他</p> <p>1. 若江岩田NPO ばあとなあ新事業所</p> <p>6月8日お披露目 ⇒中北、山本、曾我部 参加予定</p> <p>7月5日ふくてっく定例会を開催 ⇒ お披露目会の時にどのような定例会にするか確認する。</p> <p>ばあとなあは、本気就労の場としたい。野菜工場や空き缶、自転車を修理し東南アジアに送るなど。また活用方法としては、地域の障がい者の自身体験の場としたり、改修計画のヒントを見つける場、ケアマネの研修の場など。</p> <p>中北事務所は御祝に「ボッチャ」（パラリンピックの正式種目）を贈ります。7月定例会では、ふくてっくとばあとなあの対抗戦も考えています。</p> <p>2. 奈良ケアホーム・ビレッジ構想</p> <p>家族会総会・法人理事会にて事業承認 ⇒ 福祉事業団に資金を借りることで一歩前進。</p> <p>3. 既存建物活用による福祉事業所開設検討</p> <p>4. 福祉事業所改修 ⇒ 2案件あるので、早急にチームを組み対応していきたい。</p> <p>II 社会連携事業その他</p> <p>6月4日 セミナー参加「社会福祉法人のあり方」</p> <p>7月24・25日 グループホームセミナー参加予定</p> <p>III 次回部会予定 未定</p> <p>6月9日(月)18:00～中北A0にて たかとり第三者評価の評価会議 ⇒ 延期</p>		
ひとことタイム（会員による個人の情報発信コーナー）		
<p>有馬会員：自宅工房でものづくりを始めました。ものづくりびと 素敵なお刺ができています。</p> <p>杉浦会員：セミナー報告</p>		
グループミーティング（テーブル毎にフリートーク）		
初参加者の感想（初参加者には例会参加の動機、参加した感想など一言お話しいただきますのでご協力ください）		
<p>*次回例会の司会予定* 平成26年7月5日</p> <p>司会：寺岡会員</p> <p>五十音順です。予定者の都合が悪い場合は、次の会員が担当となります。予定： 長岩会員 樋口会員</p>		
次回以降の予定		
<p>・7月5日(土)13:30～17:00 会場：<u>自立支援センター「ばあとなあ」新事業所（東大阪市若江東）</u></p> <p>■学習会 当事者主体の障がい者支援活動／ふくてっくの支援プログラム</p> <p>・8月2日(土)13:30～17:00 会場：<u>A T C I T M棟11階 Hゾーン</u></p> <p>■総会・20周年記念事業</p>		